

# 国際交流

留学生との交流や、海外への留学を通して相互の教育・研究水準を高めるとともに、異文化理解、国際協調精神を身につける。



留学交流は、相互の教育・研究水準を高めるとともに、国際理解、国際協調の精神の醸成、推進に大きな役割を果たしています。更に、開発途上国の場合はその人材養成に協力するなど、国際貢献のための重要な国策とされています。京都大学では、現在 107 の国・地域から約 1,660 名の留学生を受け入れ国際色豊かなキャンパスとなっています。

近年、留学交流の新たなニーズとして、大学に在籍しながら 1 年以内の短期間外国の大学に留学する短期留学が活発化しており、本学においてもこの留学を積極的に支援し、その施策を展開しています。

## 京都大学国際教育プログラムについて (KUINEP [Kyoto University International Education Program])

このプログラムは、学生交流協定を締結している海外の大学から学部学生を半年もしくは 1 年間受け入れて本学の学生とともに英語

で教育することにより、本学学生の国際性を育成し、留学生との相互交流を活発にすることを目的としたものです。

開講科目は 32 科目 (平成 23 年度予定) で、本学の全学共通科目として提供し、単位を認定します。

## 授業料等を不徴収とする大学間学生交流協定校への派遣留学 (交換留学) について

この制度は、海外の大学との学生交流協定に基づいて本学の学部又は大学院に在籍しつつ、1 年以内の 1 学期又は複数学期、協定校で教育を受けて単位を取得又は研究指導を受けるものです。学内で年 2 回募集を行い、書類選考及び必要に応じ面接により候補者を決定します。

京都大学では 20 カ国・地域の 57 大学 2 大学群と学生交流協定を結んでいます。京都大学を通じて出願手続きができ、留学先では授業料等を支払う必要はありません。

## 派遣留学 (交換留学) に関する Q&A

### Q1: 学生交流協定とは何ですか?

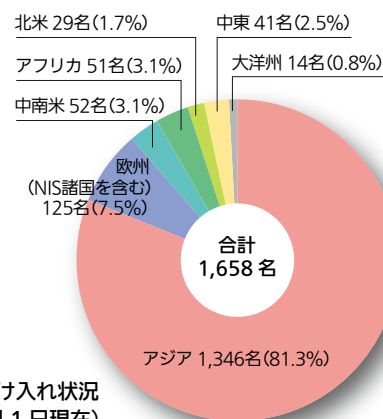
学生交流協定は、学生の交流 (交換留学) についての取り決めで、1) 在籍する大学に授業料を納めることにより留学先大学での授業料等が免除されることや、2) 留学先で修得した単位が在籍する大学で認定される場合があることなどについての取り決めをしています。

### Q2: 派遣留学 (交換留学) とは何ですか?

国際交流を促進するために、学生交流協定に基づいて、互いに学生を留学させあうシステムのことです。京都大学に在籍しつつ、1 年以内の 1 学期又は複数学期のあいだ、京都大学が協定を結んでいる海外の大学に学位取得を目的としない留学をし、教育を受けて単位取得し、又は研究指導を受けるものです。

## 工学部地球工学科国際コース

工学部地球工学科では、国際的技術者の養成を目的とし、多様な国籍の学生が共に学ぶために、全ての授業を英語で受講できる国際コースを 2011 年 4 月より開設しました。留学生向けには、一般入試とは別途の選抜試験を行います。一般入試を受験された方も合格後、本コースを選択することが可能です。本人の申し出により適性を判断して国際コースへの配属を決定します。本コースは、「京都大学次世代地球社会リーダー育成プログラム K.U.PROFILE (Kyoto University Programs for Future International Leaders)」の一環として開設しています。



外国人留学生受け入れ状況 (平成 23 年 5 月 1 日現在)

### Q3：外国語力・学力はどのくらい必要ですか？

多くの協定校では、英語圏ではTOEFL iBT 80～100点程度、中国語圏では旧HSKで6級、新HSKで5級などのように、講義等が使われる言語の検定試験の成績を受入条件として定めていますので、学習、受験してクリアする必要があります。また、京都大学の学業成績については、受入条件として基準を定めている協定校はないですが、留学先ごとの定員を超える希望者があった場合、京都大学内での派遣候補者選考において、学業成績のより優れた者に協定校への出願権を与える原則となっています。

### Q4：派遣留学（交換留学）の準備にはどのくらいの期間がかかりますか？

派遣留学（交換留学）を希望する学生は、おおむね想定する出発時期の1年ほど前に、所属する学部・研究科を通じて学内選考用の申請書（日本語）を提出する必要があります。協定校が提供する資料の中から、自分の専攻領域に合ったプログラムや履修したい講義を持つ大学を事前に自分で調べてから、学内選考用の書類を提出する必要があります。

派遣留学（交換留学）は、年度により募集日程及び留学可能な協定校に多少変更があります

が、おおむね春と夏に学内募集を行います。

学内選考を通過した学生は、その後、留学希望先の指定する願書、推薦状、留学目的、履修希望科目を記した書類等を提出することになります。

### Q5：派遣留学先で取得した単位は、京都大学で認定されますか？

留学先で修得した単位を本学で修得した単位として認める単位認定制度があります。

### Q6：一募集期に、複数の大学に応募できますか？

第二希望まで選んで学内応募できますが、実際の出願は学内選考・調整により、一校に絞ってもらいます。

### Q7：大学の情報・資料はどこで入手できますか？

協定校から送られてくる資料は、留学生ラウンジ「きずな」に保存してありますので、自由に閲覧できます。「きずな」にない場合は各校のホームページで確認してください。

### Q8：派遣留学（交換留学）するための奨学金はありますか？

協定校への派遣留学生を対象とした奨学金として、次の奨学金・助成制度があります。

- 1 独立行政法人日本学生支援機構の留学生交流支援制度（短期派遣）：奨学金 月額 80,000 円
- 2 京都大学教育研究振興財団からの助成を受けて、京都大学が実施する京都大学「留学派遣」：渡航費の一部助成

### 「留学のスズメ」～京大による京大生のための留学説明会～

学生みなさんに海外留学を身近に感じてもらうため、国際交流センター/留学生課では年間を通して「留学のスズメ」と題し、各種説明会を開催しています。主な内容として、交換留学や大学院留学のほか、語学研修、海外インターンシップ、TOEFL 対策等があります。教職員や生活協同組合、関係団体に加え、学生組織や実際に留学をした学生等による留学情報満載の講演や留学体験談を、また海外協定校から本学に受け入れている交換留学生や、その大学へ留学した経験を持つ京大生による協定校紹介を行っています。所属部局の掲示板や京都大学 HP で説明会情報をチェックして、是非気軽に参加してください。

(京都大学 HP 掲載 URL)

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/students3/susume/>

大学間学生交流協定校への派遣実績一覧（平成 22 年度）

国・地域	大学名	人数
アメリカ合衆国	ジョージワシントン大学	2
	ペンシルベニア大学	2
英国	シェフィールド大学	2
	マンチェスター大学	4
オーストラリア連邦	オーストラリア国立大学	1
オランダ王国	ライデン大学	1
カナダ	ユトレヒト大学	5
	トロント大学	1
	ケベック州大学学長校長協議会	3
	ウォータールー大学	3
シンガポール共和国	シンガポール国立大学	1
スイス連邦	ローザンヌ大学	3
スウェーデン王国	ウプサラ大学	3
	ストックホルム王立工科大学	1
タイ王国	チュラロンコン大学	1
台湾	国立台湾大学	2
中華人民共和国	北京大学	2
	香港大学	2
ドイツ連邦共和国	ボン大学	1
	ハイデルベルク大学	2
ニュージーランド	オークランド大学	1
フランス共和国	ストラスブール大学	2
	パリ政治学院	1
	エコール・ノルマン・シュペリウール	1
ベルギー王国	ルーバンカトリック大学	1
計（15カ国・地域）	24大学1大学群	48

その他、学部・研究科独自の学生交流協定に基づく留学、個人手続きによる短期語学研修、大学院生を中心とした調査等の海外渡航が京大生により行われています。

「留学のスズメ」開催実績（平成 22 年度）

月	日	タイトル・内容	
4月	21日(水)	国際交流センター新入生説明会	
5月	10日(月)	International Week	夏の語学研修ガイダンス
	11日(火)		学生時代に体験する海外インターンシップ
	12日(水)		学部生・院生のための交換留学説明会
	13日(木)		大学院留学 ～留学生生活編～
	14日(金)		大学院留学 ～留学準備編～
6月	3日(木)	先輩体験談	長期留学（院レベル）経験者による体験談
	10日(木)		交換留学経験者による体験談
	17日(木)		KCJS/SCTI英語講義聴講経験者による体験談
	24日(木)		海外インターンシップ経験者による体験談
	28日(月)	海外協定校紹介	Part 1：イギリス・シェフィールド大学
	29日(火)		Part 2：オーストリア・ウィーン大学
	30日(水)		Part 3：シンガポール・シンガポール国立大学
7月	7日(水)	アジア留学説明会	
	14日(木)	海外渡航安全説明会	
10月	12日(火)	海外インターンシップ説明会	
	13日(火)		
11月	8日(月)	(特別編) St. Gallen Symposium説明会	
12月	6日(月)	海外協定校紹介 (第2弾)	Part 4：オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学
	8日(水)		Part 5：台湾・国立台湾大学
	9日(木)		Part 6：カナダ・マギル大学
	10日(金)		Part 7：スウェーデン・ストックホルム大学

# 大学院進学

学部教育で身につけた知識や技術をより深め、次世代を担う研究者・実務者をめざす。

[写真] 湯川記念館 湯川秀樹博士像



京都大学の卒業生には、伝統ある「自由の学風」の中で培われた知性・感性・倫理性といった力を、社会における様々な分野の中でさらに磨きつつ、活かして行くことが期待されています。学部卒業後の進路としては就職か大学院進学が考えられますが、いずれの進路を選ぶにせよ、京都大学は、皆さんが誇りある京都大学卒業生として、社会に貢献できるような道を進めるよう、サポートします。

大学院進学者は、全国的に増加傾向にあります。とりわけ京都大学は、大学院を充実させた研究型大学の特徴として、平成23年(2011)3月に学部を卒業した2,842名のうち、約61%が大学院に進学しました。

各部卒業後に就職の道へ進んだのは、約30%です。その就職先は、後のページに挙げるように、多種多様な職種へと進み、大学で学んできた知識と技能を活かしています。

## 大学院進学

学部を卒業した後、学部教育で身につけた知識や教養、技術をより深めることを希望するならば、大学院進学を選ぶことになるでしょう。

大学院とは、次世代を担う研究者あるいは高度な知識と技能を持った実務者を養成する課程です。したがって、学部教育よりもさらに専門的な知識を身につけ、自分自身で研究を行う能力や専門的な実務能力を養うこととなります。標準修業年限は、博士前期課程(修士課程)の2年間とそれに続く博士後期課程(博士課程)の3年間で、定められた単位を修得し、必要な研究指導を受けて研究論文の審査と最終試験に合格すれば、修士もしくは博士の学位が授与されます。またいわゆる飛び級制度を認めている大学院もあります。指定の単位を優れた成績で取得した者で学部在籍が3年間以上の者に入学を認めたり、それぞれの標準修業年数に満たなくても学位を授与したりする場合があります。

進学先については、学部と関連した大学院へ進学することが一般的ですが、異なる分野の大学院へ進学することも可能です。一般に大学院には学部よりも多種多様なバックグラウンドを持つ学生が集まり、多様性が増すこととなります。

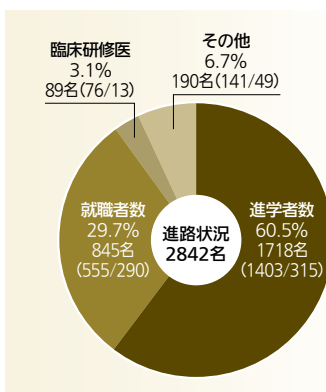
## 学部を持つ大学院

京都大学の10の学部は、それぞれが大学院を備えています。正確に言えば、大学院重点化が行われた現在は、大学院が主たる組織であり、そこが学部教育も提供しているという形になります。学部とつながる大学院は、総合人間学部と統合した人間・環境学研究所、文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科です。それぞれが、学士課程(学部)の教育と連続した、高度な研究と教育をおこなっています。詳しくは、各学部の紹介のページを参照してください。

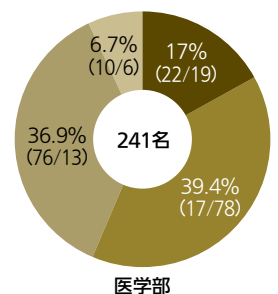
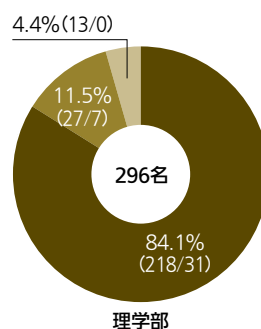
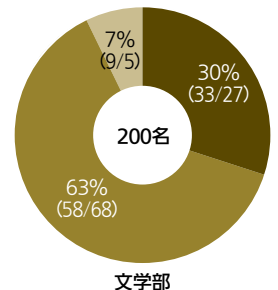
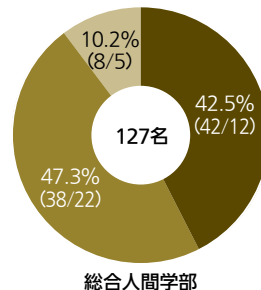
平成22年度卒業生の進路状況  
(平成23年5月1日現在)

学部名	卒業生数		合計
	男	女	
総合人間学部	88	39	127
文学部	100	100	200
教育学部	31	30	61
法学部	252	83	335
経済学部	201	51	252
理学部	258	38	296
医学部	125	116	241
薬学部	36	16	52
工学部	890	77	967
農学部	194	117	311
男計/女計	2175	667	2842

進学者数には大学学部へ入学した者4名(男3名・女1名)を含む。



括弧内は男女人数比(男/女)



## 独立研究科

京都大学には学部を持たない大学院課程、すなわち独立研究科が5つあります。エネルギー科学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、情報学研究科、生命科学研究科、地球環境学舎、がそれにあたります。いずれの研究科においても、多様な学部の卒業生を受け入れ、複合的学域の創出・深化に携わる研究者や実務家の養成を主眼とした大学院教育の体系化をめざしています。

エネルギー科学研究科では、エネルギー持続型社会形成を目指して、理工系に人文社会系の視点を取り込みつつ学際領域としてエネルギー科学の学理の確立をはかり、地球社会の調和ある共存に寄与する、国際的視野と高度の専門能力をもつ人材を育成することをめざしています。

アジア・アフリカ地域研究研究科では、これまでの京都大学での地域研究の伝統をもとに、大学院5年一貫教育でフィールドワークを重視し、地域の現場での生活を通して問題を発見し、生態・社会・文化が複合する地域の実態の調査研究を進めていく地域研究者や国際貢献できる実務者の育成を目的としています。

情報科学研究科では、自然および人工システムにおける情報に関して、その生成や認識、伝達、制御などの幅広い側面について、人文科学と理工科学との学際的手法により研究していきます。そこでの成果は、人類知の様々な分野に寄与することが期待されています。

生命科学研究科では、従来の理学、農学、医学、薬学分野の知識と技術を統合し、遺伝子、分子、細胞を探索の単位とする従来の生命科学を超え、より高次元生命現象解明へ取り組む新しい生命科学の研究を創出し、複雑な生物圏を理解し地球環境保全と人類の福祉と幸福に寄与できる人材の養成をめざしています。

地球環境学舎は、地球環境問題の解明と解決のために、環境安定とそれを支える人間活動の双方に資する新たな文明理念と科学技術知を構築すること、そしてそれを現実世界に適用しうる人材育成を行うことを目的として平成14年に設置されました。

## 専門職大学院

研究者養成に主眼をおいていた従来の修士課程とは異なり、高度で専門的な職業能力をもった実務家を養成するための、新しい形の大学院です。現場で活躍する各分野のスペシャリスト等も専任教員として招き、現場の複雑な問題を解決するための知識と技能の獲得をめざした教育をおこなっています。京都大学では、医学研究科で平成12(2000)年に専門大学院として開設された社会健康医学系専攻が、平成15(2003)年専門職大学院となりました。また法学研究科では法曹養成専攻(法科大学院)を平成16(2004)年に開設しました。さらに、平成18(2006)年には公共政策大学院および経営管理大学院の2つの専門職大学院が開設されました。以下に簡単に紹介します。

### 医学研究科社会健康医学系専攻

この専攻は、将来、保健・医療・福祉分野における専門職あるいは教育研究職につくことを希望する者が、「社会における人間」の健康に関わる問題を探知・評価・分析・解決するために必要な幅広い知識、技術、態度を身に付けることを目的としています。教育の対象となる分野は自然科学から人文社会科学まで多岐にわたります。

わが国は知的創造立国を志向しており、今後は医療分野でも特許を広く認めようとしています。そこで先端医学の研究成果を知的財産として管理・活用する高度専門職を育成するために、

平成16年度には知的財産経営学コースが開講されました。

また、ヒトや集団を単位とした臨床研究を推進するため、平成17年度には医師・歯科医師を対象とした1年制のコース臨床研究者養成コースを開設しました。

さらに平成18年度には、先端医療に対応できる高度な専門的知識とコミュニケーション能力を持ち、患者・家族・被験者の立場を理解して新医療とのインターフェースとなりうる人材を総合的に養成する遺伝カウンセラー・コーディネータユニット(「遺伝カウンセラーコース」・「臨床研究コーディネータコース」)が開設されました。

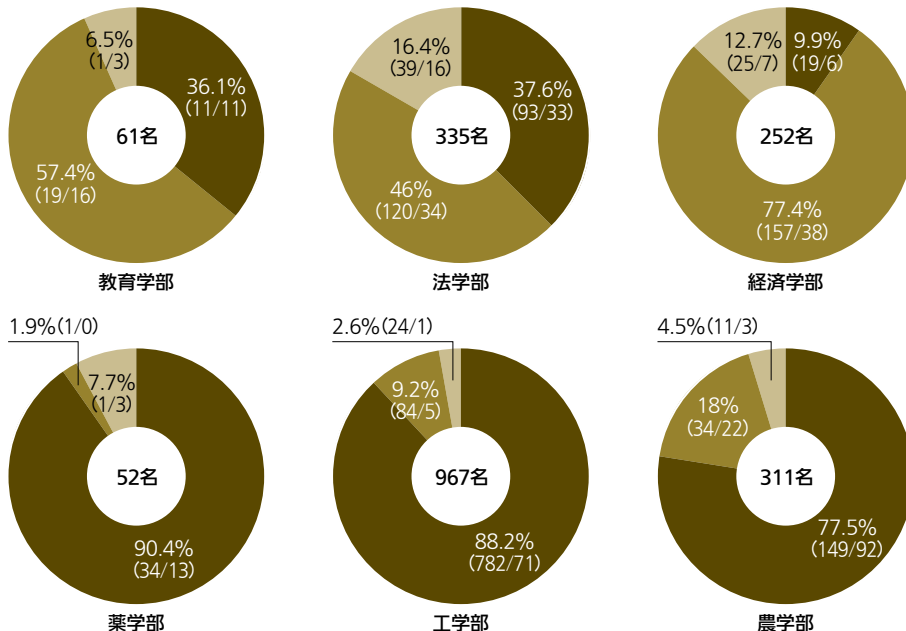
## 法科大学院

法科大学院は、法の精神が息衝く自由で公正な社会の実現のため、幅広い分野において指導的な役割を果たす創造力ある法律家を養成します。法学部・法学研究科の伝統にならない、自主・独立の精神と批判的討議を重んじ、自由闊達な教育環境の中で、法制度に関する原理的・体系的な理解、緻密な論理的思考能力、法律家としての高い責任感を涵養し、社会の抱える構造的な課題や最先端の法問題に取り組むことのできる総合的な法的能力の育成を図ります。また実務的課題にも対応した教育を充実させるため、実務経験の豊富な多くの実務家教員を迎え、研究者教員と実務家教員が連携しつつ、理論と実務を架橋する高度な教育を提供しています。

## 公共政策大学院

公共的な仕事に携わる高度専門職業人を養成する専門職大学院として、2006年4月に開学した大学院です。定員40名で、少人数教育をとります。専任の教員は12名ですが、他にも法学研究科、経済学研究科をはじめとした、他研究科の教員、さらには実務家が授業を担当します。

ここでは、中央・地方レベルにおける国内行政および立法機関、国際機関、NPO/NGO、シンクタンク等の職業に従事する者のほか、一般企業において公共的な業務に携わる者など、公共政策分野の高度専門職業人を育てることを目的としています。したがって公共政策の立案・遂行・評価に必要な専門的知識だけではなく、優れた教養と高い倫理的責任感を備えた人材の育成を目指しています。そのため、法学・政治学・経済学・経営学を有機的に結合した科目や、実務経験者による具体的な事例に則した実践的な知識を涵養する科目を提供すると同時に、幅広い視野と教養を身につけるために原理的・歴史的知識を教授する科目も多数用意されています。



## 経営管理大学院

マネジメントに関する専門的かつ実践的な能力を備えた真のプロフェッショナルを育成するための大学院です。ビジネススクールとして、専門的知見を持つ社会人、多様なバックグラウンドを持つ学生、外国人留学生といった人材を受け入れており、相互の刺激と切磋琢磨を通じて、現代の複雑なマネジメント諸課題に取り組むことができる実践的知識と論理的思考力の獲得を目指します。

本大学院は、科学的な理論に基づいた専門的な知識と実践的な問題解決能力を修得するために、多様な授業科目を提供します。そして、主に1年生前期に基礎科目、1年生後期から2年生前期に専門科目、そして2年生前期からは実務科目と発展科目という体系的な履修を実現する科目構成をとっています。そして、スーパーバイザーが、それぞれの学生の知識や履修状況、そして将来の希望を踏まえ、履修すべき科目や学修すべき内容についてアドバイスを与え、積極的に学びを支援します。

## 社会人のための大学院コース

現在、社会状況はますます複雑化し、職業を持つ社会人でも大学で再び学び直すことを希望する人が増えています。あるいは、大学を卒業して就職した後に、現場の具体的な問題に触れてこそ、学習や研究を深めていく必要性を感じるという場合もあります。このような要請に応えるため、京都大学には社会人の大学院進学のための制度が整備されています。この制度には大きく分けて、研究者養成を主眼にした大学院がおこなっている「社会人特別選抜」と、先述した高度専門職業人養成大学院への入学があります。

京都大学でも多くの大学院が社会人特別選抜をおこなっています。いずれも、社会での実務経験のある人材に対して門戸を開き、リフレッシュ教育の機会を提供するとともに、多様な人材を受け入れることで大学院の活性化をねらっています。

また、専門職大学院では、当該専門と直結する分野以外を卒業した者や在職社会人を積極的に入学者として受け入れており、多様なバックボーンをもつ人々がこれまでの自分のキャリアを活かしつつ、専門的な職業能力を身につけるよう工夫されています。

※ 大学院の詳細な内容や入学者選抜方法については、大学院各研究科にお問い合わせ願います。

## 大学院への進学（●印は主な出身学部を紹介しています。）

	総合人間学部	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	農学部
<b>文学研究科</b> 文献文化学専攻 思想文化学専攻 歴史文化学専攻 行動文化学専攻 現代文化学専攻	●	●								
<b>教育学研究科</b> 教育科学専攻 臨床教育学専攻		●	●							
<b>法学研究科</b> 法政理論専攻 法曹養成専攻（法科大学院）	●	●		●						
<b>経済学研究科</b> 経済学専攻					●					
<b>理学研究科</b> 数学・数理解析専攻 物理学・宇宙物理学専攻 地球惑星科学専攻 化学専攻 生物科学専攻	●					●				●
<b>医学研究科</b> 医学専攻 医科学専攻 社会健康医学系専攻 人間健康科学系専攻							●			●
<b>薬学研究科</b> 薬科学専攻 創薬科学専攻 生命薬科学専攻 医療薬科学専攻 医薬創成情報科学								●		
<b>工学研究科</b> 社会基盤工学専攻 都市社会工学専攻 都市環境工学専攻 建築学専攻 機械理工学専攻 マイクロエンジニアリング専攻 航空宇宙工学専攻 原子核工学専攻 材料工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 材料化学専攻 物質エネルギー化学専攻 分子工学専攻 高分子化学専攻 合成・生物化学専攻 化学工学専攻	●								●	
<b>農学研究科</b> 農学専攻 森林科学専攻 応用生命科学専攻 応用生物科学専攻 地域環境科学専攻 生物資源経済学専攻 食品生物科学専攻	●									●
<b>人間・環境学研究科</b> 共生人間学専攻 共生文明学専攻 相関環境学専攻	●	●								
<b>エネルギー科学研究科</b> エネルギー社会・環境科学専攻 エネルギー基礎科学専攻 エネルギー変換科学専攻 エネルギー応用科学専攻	●								●	●
<b>アジア・アフリカ地域研究研究科</b> 東南アジア地域研究専攻 アフリカ地域研究専攻 グローバル地域研究専攻						●				●
<b>情報学研究科</b> 知能情報学専攻 社会情報学専攻 複雑系科学専攻 数理工学専攻 システム科学専攻 通信情報システム専攻	●					●			●	
<b>生命科学研究科</b> 統合生命科学専攻 高次生命科学専攻	●					●		●		●
<b>地球環境学舎</b> 地球環境学専攻 環境マネジメント専攻	●	●							●	●
<b>公共政策大学院</b>				●	●					
<b>経営管理大学院</b>					●	●			●	

# 就職支援

企業・組織での実務者として、  
社会での活躍を目指すために。  
豊かな人生をおくるために。

【写真】就職ガイダンス風景

## キャリアサポートセンター

就職氷河期の再来が叫ばれ、就職活動に苦戦を強いられる学生が多いのは京都大学でも例外ではありません。しかし、企業でも官公庁でも優秀でかつやる気のある人材を求めていることに変わりはありません。

優秀な人材には複数の内定が出る一方で、全く結果が出ない人もいるなど人材の二極化が明らかになっています。一方、学生側の就職に対する希望が多様化しており、学生の希望と企業側の求める人材とのマッチングをいかに図るか、学生がいかに自分の能力や経験を活かせ、かつ適性にあった就職先を見つけることができるかが大きな課題となってきています。

また、大学院への進学率が高い本学では、学生自身が自分の進むべき道（将来の進路・職業）について早い時期から考えていくことは、充実した学生生活を送るうえで重要なことであると考えています。

キャリアサポートセンターでは、学生の就職活動を支援するため、各種就職関連ガイダンスや就職相談の実施に加え、各種企業資料・会社案内（パンフレット）、求人情報、OB・OG名簿、就職関連書籍・ビデオ・CD、企業主催のセミナー・説明会開催情報及びインターンシップ募集情報の収集・閲覧並びにメール



【写真】キャリアサポートセンター

マガジンの発行、求人票検索システムの運用等を行っています。就職関連書籍・ビデオ・CDについては貸し出しも可能です。

近年の就職活動においては、インターネットの活用が不可欠なものとなりつつあることから、キャリアサポートセンターに就職情報検索用のパソコンを数台設置し、学生が自由に利用できる環境を整えています。

キャリアサポートセンターは、時計台のある吉田キャンパスの他に宇治キャンパスおよび桂キャンパスにもサテライト（分室）を開設しています。

## ガイダンス等の開催

就職活動の概要を紹介する「就職ガイダンス」、企業の人事担当者を招いて企業概要や求める人材像等について説明を受け、併せて業界研究を行うことを目的とした「業界研究セミナー（旧、企業ガイダンス）」の実施のほか、少人数を対象とした自己分析講座、ビジネスマナー講座、個人又は少人数を対象としたエントリーシート添削、模擬面接などを実施しています。「キャリアデザイン講座」として、学部1・2回生を対象とした将来のキャリアを考えるための講座、将来研究者を目指す人たちに向けての講演会、女性のキャリアを考える講演会などを実施しています。また、有料の講座を、外部で受講するより割安で受けられるシステムを導入し、キャリアアップの機会増大を図っています。※昨年度開催のガイダンス等一覧は次ページの表を参照してください。

## 若手研究者キャリアパス多様化計画

大学院へ進学し博士の学位を取得した人材が、大学等の研究機関以外の多様な方面に進

み、その高度な専門性と能力を活用することが大いに期待されています。キャリアサポートセンターでは、このような人材が主体的に進路を選択し、社会の多様な場において専門性を生かして活躍できる環境を創出するための様々な支援を行っています。

## 就職相談室の開設

就職情報企業から就職指導の専門家を相談員として招き、就職・進路にかかる様々な相談に対応しており、専門的立場から適切なアドバイスを行っています（予約制）。気軽に、また、何度でもご利用いただけます。

## インターンシップ 一実社会体験を学びに活かす一

インターンシップは、学生が在学中に企業・団体等の現場において実社会を体験する貴重な学びの機会です。

### 京都大学におけるインターンシップの活用

本学では、就業体験を通してキャリアアップを目指す学生に対して、多種多様なインターンシップについての情報提供を行っています。国内の国公立・民間研究機関、地方公共企業体や民間企業等における現場での貴重な経験を、大学における学びに活かせるようサポートします。毎年多くの在学生在がインターンシップを体験し、近年は、外国の研究機関や企業におけるインターンシップに積極的に参加する在生も増えています。本学では、このような学外でのインターンシップを授業に採用し、学外の国公立・民間機関等で行った就業体験を単位として認定する制度を取り入れている学部（学科）や研究科もあります。

インターンシップの効果

社会の現場での就業体験を通して、次のような効果が期待できます。

- ・ 責任感や人間関係を学び、人間的に大きく成長することができる。[人間的成長]
- ・ 働くことに対してのイメージがより具体的になり、目的意識を持った就職活動を行える。[修業意識の高揚]
- ・ 自らの学生生活を振り返る良い機会となり、今、自分が何をすべきかが見えてくる。[学習意欲の向上]

インターンシップの類型

- ・ 学外実習等の授業科目とする場合。
  - 単位として認定します。
- ・ 学校行事等、大学等における活動の一環として位置づける場合。
  - 単位認定しません。
- ・ 企業等が実施するインターンシップのプログラムに学生が個人的に参加する場合。
  - 単位認定しません。

海外インターンシップ

世の中のグローバル化が進み、国際的な広い視野やコミュニケーション能力を身に付けることのできる海外インターンシップへの関心が高まっています。

海外インターンシップ体験を希望する学生を支援するため、京都大学内においては、以下の2つの委員会が活動しています。

「外国での研修に参加しよう！」

—京都大学イアエステ学内委員会—

イアエステ (<http://www.iaeste.or.jp/>) は、理工農薬系学生のための国際インターンシップを仲介している国際非政治団体です。海外に派遣される学生は主に夏休みを利用し2～3ヶ月間、現地の企業や、大学、研究機関で就業体験します。イアエステ日本支部は1964年の設立以来、2,500人以上の国内の学生を海外へ派遣しています。また、理事役員メンバーの指導の下、事務局職員と学生ボランティア（学生運営委員会）によって運営されています。

私達はその京都大学学内委員会のメンバーで、夏休みに来日する海外の研修生のサポートや、学内での派遣生募集の為に認定試験などの広報、派遣予定の日本の学生と帰国してきた派遣生OBとの交流会の開催など、インターンシップに関するあらゆる援助をしています。

認定試験を受けて、海外で自らの力量を試すのもいいですが、国内での受け入れや派遣の支援という裏方のような活動をする事で見てくる世界もあります。専門分野を持つ海外の学生と交流できるのも大きな刺激になります。国際的な広い視野を有する研究者を目指す方、理系・文系の垣根無く、英語をツールとして使いたい皆さん、イアエステについてももっと知ってみませんか？

「It's up to you!」

—アイセック京都大学委員会—

アイセックは、100を超える国と地域に活動拠点を持つ世界最大規模の国際学生NPOであり、“Peace and Fulfilment of Humankind's Potential”を理念に、海外インターンシップ事業を行っています。アイセック京都大学委員会は、海外インターンシップの運営を行い、学生に対して異文化環境のもとで社会経験を積む機会と学びを得る機会を提供しています。また企画事業として、着物を通じて日本の伝統文化への理解を促す活動も行っています。

(<http://www.aiesec.jp/kyoto/>)

国内外に幅広いネットワークを持つアイセックには、多種多様なステージで活動できる機会が存在します。インターンのために来日した各国の優秀な学生や、海外へインターンの場を求める意識の高い日本人学生... 彼らのサポートをする中で、アイセックメンバーは日々多くの刺激を受けています。JICAや大学教授・企業など外部パートナーとの協働、他大学・他国のアイセックメンバーとのプロジェクトなどを通して、価値観の多様性や社会の可能性に触れる場をアイセックは提供してくれます。あとはみなさんのやる気次第！あなたの充実した学生生活をお約束します。(連絡先: [kyoto@aiesec.jp](mailto:kyoto@aiesec.jp))

平成22年度就職関連ガイダンス等の実施実績について（平成23年4月1日付）

行事名	実施回数等	参加者合計	学部	修士	専門職	博士	ポスドク	研究員	その他
就職ガイダンス	全6回	1892	966	874	20	29		2	1
業界研究セミナー	全8回	1797	853	875	33	34			2
キャリアデザイン講座	全2回	182	40	126	0	12		2	2
合同企業説明会	全5回8日間	3233	1583	1518	78	49	1		4
公務員対策講座	全4回	682	314	136	20	15			197
国I・地方上級等採用試験説明会		378	211	130	7	26			4
就職セミナー	全52回	1993	1015	903	38	31	3		3
ホームカミングデーOB・OG交流会		73	48	22	3	0			
インターンシップガイダンス		318	196	118	3	1			
内定者による相談会	全17回	108	77	30	1	0			
国I・II, 地方上級等試験模擬面接	全9日間	66	38	24	2	2			
SPI・診断テスト	各2回	669	331	315	16	5			2
弁理士試験等対策講座(無料公開講座)		37	25	5	3	2			2
就職相談	全190日	910	355	394	8	99	24	4	26
キャリアパス多様化促進計画	全3回	186	0	10	0	72	19		85
計		12524	6052	5480	232	377	47	8	328

[資料] 卒業生の産業別就職状況について

平成 22 年度卒業生の産業別就職状況 (平成 23 年 5 月 1 日現在)

産業	学部	学部		総合人間		文学部		教育学部		法学部		経済学部		理学部		医学部		薬学部		工学部		農学部		男子計	女子計	総合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
		農業・林業																									
漁業																											
鉱業・採石業・砂利採取業																											
建設業				1						3										5			9		9		
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料	1	1		1			1	1	3		1								5	1	11	4	15			
	繊維工業	1			1		1	1															2	2	4		
	印刷・同関連業	1				2	2		1			1								1			5	3	8		
	化学工業・石油・石炭製品				2				3	1	5									3			1	13	2	15	
	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品			1	1	1			6	1	7			1									1	14	5	19	
	はん用・生産用・業務用機械器具								1	1	3		1							4		1	1	10	2	12	
	電子部品・デバイス・電子回路	1	1								3	1									2		1		7	2	9
	電気・情報通信機械器具				1	3	1		4		5	1	2	1							2	1		15	6	21	
	輸送用機械器具				3	2			2	1	4	1									7	1		16	5	21	
	その他	1		1		1	1		1	1		2			1					1				6	4	10	
電気・ガス・熱供給・水道業			2		2	1		7	4	9	1									1			20	7	27		
情報通信業		8	3	11	16	2		6		11	6	4		1						8		2	2	53	27	80	
運輸業・郵便業		1	2	4	4			10	1	9	3	1								8				33	10	43	
卸売業・小売業	卸売業	1	1	2	2			4	1	17	4	1								7	1	1		33	9	42	
小売業	小売業	1	1		4		2	3	1	2	1	1				1			1	1			1	9	10	19	
金融業・保険業	金融業	7	3	4	6	1	1	29	7	35	9	1	1		3				7		5	3	89	33	122		
保険業	保険業	1		5	1	1	1	7		6		1							2		1		24	2	26		
不動産業・物品賃貸業	不動産取引・賃貸・管理業	1		2	1		1	1		3	1								2				9	3	12		
物品賃貸業	物品賃貸業																										
学研研究・専門・技術	学術・開発研究機関	3	1					1			6	1											5	7	12		
専門・技術	法務																			2				2		2	
サービス業	その他の専門・技術サービス業			2	1	1	1			20		2	1						7	1	4	2	36	6	42		
宿泊業・飲食サービス業		1	1											2								1	2	2	5	7	
生活関連サービス業・娯楽業			1	1		2								3									6	1	7		
教育・学習支援業	学校教育	1	1	3	3	4	2	1	1	2	1	4							2		2	4	19	12	31		
教育・学習支援業	その他の教育・学習支援業			3	5			2		2		3	1	1					2		2		15	6	21		
医療・福祉	医療業・保健衛生									1					9	72							10	72	82		
医療・福祉	社会保険・社会福祉介護事業		1				1														1			3	3		
複合サービス事業								3	2						1								3	3	6		
サービス業	宗教	1		1																				2		2	
サービス業	その他のサービス業			1	4	1	1	4	1	1		1	1						1		1		10	7	17		
公務	国家公務	5	3	3	2		1	12	5	2		1	1	1					3		2	1	29	13	42		
公務	地方公務			7	9	2	1	11	4	4	1	2							6		6	1	38	16	54		
上記以外			1																1		1			3	3		
総合計		60		126		35		154		195		34		95		1		89		56			555	290	845		
男子計	女子計	38	22	58	68	19	16	120	34	157	38	27	7	17	78	1		84	5	34	22						

さらなる飛躍を支援



# ベンチャー起業

自らのアイデアを具現化し、  
ベンチャー起業を志す人を  
様々な面からサポートします。



## 起業を目指すみなさんへ (教育活動について)

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL) 主催の講義、「新産業創出論」では、新産業創出への最近の動きおよび大学における取り組みを概論するとともに、ベンチャーの動向・企業経営、特に注目される学生起業のベンチャーや京都ベンチャーの内実、およびハイテクベンチャーの基盤となる知的財産権 (特許)、今後の産学連携の在り方・戦略に関して、この分野で活躍されている実際の企業の経営陣・弁理士・研究者の方をお呼びし、受講生との討論を主体に行っています。

また、将来の産業・科学技術の発展の担い手となる起業家や研究者育成の一環として、ハイテクベンチャーの種となる技術アイデアの創出と特許化を支援するため、院生・学生・そして高校生を対象とした「テクノ愛」(後述)を財団法人近畿地方発明センターと共同で毎年開催しています。



[写真] 竹籠型電気自動車 (Bamgoo)

## 「僕らの世代が、100年先の農業を作る。」

株式会社 坂ノ途中 代表取締役  
小野 邦彦さん (2007年 総合人間学部卒)



奈良県ののんびりとした高校に通っていた僕は、京都に住んでみたい、とくに興味のある分野が絞れていないという理由から、京都大学総合人間学部に進学しました。

進学後は、好きなことばかりしていましたね。アンティーク着物店を友人たちと運営していたころは、学校も着物で通っていました。休学して上海からイスタンブールまで陸路で横断した経験は、環境保全に関わる仕事がしたいと思った大きなきっかけとなっています。

全くマジメな学生ではありませんでしたが、専攻していた文化人類学の奥深さに気づき、最後の一年間だけ猛烈に勉強しました。卒業論文のテーマは「現代陰陽道とその周辺」。指導教官とは今も仲良

くさせていただいていて、たまに研究会やゼミにも出席しています。

2年余りの大手金融機関での修業期間を経て、2009年夏、「株式会社坂ノ途中」を設立しました。坂ノ途中を通じて実現したいことは、「環境負荷の小さい農業を実践できる人材を、どんどん増殖させる」こと。無農薬・無化学肥料で提携生産者が栽培した農産物を、飲食店や自然食品店向けに販売したり、海外の高級スーパーマーケットに輸出したりしています。

皆さんも大学生になったら、自分の行動力の範囲を超えたことをしてみよう！とりあえず動いてみよう！そうすることでもっともっと想像力は豊かになり、視野がひろがり、新しい何かが見えてくると思います。



[写真] 無農薬無化学肥料で栽培された農産物ブランド「KYOTO HARVEST」

京都大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）は、全学の教育・研究施設として工学研究科を主体に、情報学・理学研究科、化学研究所等の教員・博士研究員および大学院生・学生を含む横断的で柔軟な運営組織から形成されています。「先進電子材料開発のための原子・分子アプローチ」を教育研究テーマとして掲げ、次世代の産業を支える基盤技術である研究開発プログラムの推進と、ベンチャー精神に富んだ創造的人材ならびに起業家マインドを持った若手研究者の育成を通して、また本学の様々な組織とも連携して、大学を核としたイノベーション創出活動を展開しています。

2003年にはVBL内に、京都大学の教員や院生などの起業家の活動の場として、「京大ベンチャーズ」を開設しました。

さらに京大の学生・教員・職員を対象としたベンチャー起業支援システムとして「特許相談室」と「起業相談室」を開設し、特許取得方法やベンチャー起業ノウハウを無料で相談できる場を提供しています。

また、独創性とベンチャー精神に富んだ若手育成のための教育プログラムとして「新産業創成論」や「先端電子材料学」を開講し、そしてハイテクベンチャーの種となる技術アイデアの創出と特許化を支援するため、院生・学生・そして高校生を対象とした「テク

ノ愛」を毎年開催しています。

このようにVBLは、特許・起業相談室、各種講義などの試策を通してベンチャー起業支援を行うと共に、全学の教育・研究・基盤技術創成のための中核的推進拠点として機能しています。



【写真】 京都大学 VBL 外観

### 世界から注目されるロボットの開発

株式会社ロボ・ガレージ代表取締役  
高橋 智隆さん（2003年 工学部物理工学科卒）



工学部在学中よりヒューマノイドロボットの研究開発を行い、その事業化に向けてベンチャー・ビジネス・ラボラトリーで実施されている特許相談・起業支援などのプログラムを利用してきました。その結果、玩具メーカーからロボット商品が世界中で販売されることとなりました。

そして、2003年の卒業と同時にベンチャー「ロボ・ガレージ」を創業し、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーを拠点にロボットの開発や事業展開に取り組んでいます。

【写真左】 素早い動作を特徴とするヒューマノイドロボット「ROPID（ロピッド）」 2009年

【写真右】 細身の美しい外観としなやかな動きを特徴とする女性型ロボット「FT（エフティ）」 2006年



さらなる飛躍を支援

### 京大ベンチャーズ

大学生、大学院生、教員のベンチャー起業に向けての取り組みをサポートしています。具体的には京都市の「知の創出・活用特区」認定を受けて、VBL施設利用事業「京大ベンチャーズ」を実施しており、数十社のベンチャー企業・組織が入居しています。また、数多くの京大VBLプロジェクトにおいて、先進的・独創的な研究が続けられており、これら研究成果の具体的な社会還元として、学生および教職員による製品の実用化が図られています。



【写真】 THE YANCHERS 制作の白色LEDゴーグルライト

### テクノ愛

このコンテストは非営利で運営しており、高校生・大学生の発明、創造活動を啓蒙、応援するコンテストです。

ユニークな発想やベンチャー精神を持つ人材の育成の一環として、身近な生活に役立つ技術から最先端技術までの幅広いアイデアを、高校生・大学生などを対象に広く募り、審査により表彰します。優れたアイデアには表彰だけでなく、希望者には起業化へのアドバイス・サポートも行います。

例年、大学の部の入賞アイデアをはじめとし、高校生のアイデアの特許出願もサポートしています。

